

## 地域貢献施策としてのバス路線の新設、増便実績

### 1 生活支援バスサービス（ふれあいバス）

交通局の地域貢献策として、地域の高齢者や障害者等の日常生活を支援する目的で、地域と病院・商店街・公共施設などを結ぶバスサービスを実施しています。

#### ■生活支援バスサービス（ふれあいバス）の概要

路線名	運行区間	運行開始	運行回数	利用状況
緑区(十日市場地区)	十日市場駅前→ヒルタウン中央→十日市場駅前(※1)	平成21年12月	4循環/日	81人/日
緑区(上山地区)	中山駅前→上山町公園→中山駅前(※2)	平成25年3月	4循環/日	128人/日

※1 平成25年3月に運行区間を短縮し、小型バスから大型バスに変更  
 平成31年3月に運行区間を短縮し、増便(2循環/日→6循環/日)  
 令和3年4月に減便(6循環/日→4循環/日)

※2 平成25年3月に運行区間を短縮し、増便(2循環/日→4循環/日)

●「中区・磯子区(市電保存館前～みなと赤十字病院)」は令和2年11月3日をもって運行終了

●「神奈川区(東神奈川駅西口～緑車庫前)」は令和3年3月31日をもって運行終了

●利用状況は令和5年6月平日の実績平均

### 2 地域貢献型バスサービス

「生活支援バスサービス(ふれあいバス)」に続く交通局の地域貢献策として、これまでのスキームにとられない持続可能な事業手法を確立した上で、新たなバスサービスを検討し実施しています。

#### ■地域貢献型バスサービスの概要

路線名	運行区間	運行開始	運行回数	利用状況
脳卒中・神経脊椎センター 無料シャトルバス【特定】	脳卒中・神経脊椎センター →吉野町駅→南太田駅→ 脳卒中・神経脊椎センター	平成27年4月	9循環/日	61人/日
聖隷横浜病院循環	聖隷横浜病院→水道道→ 保土ヶ谷駅東口→聖隷横浜病院	平成28年4月	8循環/日 (※3)	128人/日
聖隷横浜病院 無料シャトルバス【特定】	聖隷横浜病院→井土ヶ谷駅→ 南太田駅→黄金町駅→聖隷横浜病院	平成30年4月	8循環/日	67人/日

※3 平成29年4月に増便(7循環/日→8循環/日)

●利用状況は令和5年6月平日の実績平均

### 3 横浜市生活交通バス路線

「最寄り駅まで15分の交通体系」の考え方を基本に、バス路線が廃止されることによる交通不便地域の発生を回避するため、運行事業者に補助金を交付することでバス路線を維持し、市民の日常生活の利便性を確保するために横浜市(都市整備局)が行っている制度です。令和5年9月現在、交通局の対象路線数は9路線となっています。